

全ての生命が豊かに活かされる

～反省だけなら猿でも出来る～

副理事長 阪口光男

新しい年度、新たな決意をもって歩んでまいります。

「戦争を知らない子供たち」私もその一人です。高齡期に入る私もそんな世代なのです。戦時中都会の子供たちは学童疎開をしたと親から聞かされていました。疎開の目的は、子供たちの命を守るということと共に、次代の戦力として確保することだったといわれます。そのような時代の中で「残留学童」と呼ばれる子供たちがいました。体が不自由な生徒たちが通う「光明学校」の学童です。一九二九年東京市の教育局長がアメリカ力を視察し体の不自由な子供たちの学校を作ろうとした時に「お金がかかりすぎる」「体の不自由な子供たちのためにお金を使うより英才児教育のために使うほうがよっぽど国のためだ」「そんな不経済な学校はよせ」といった反対の声がありました。その後一九三二年に関係者の熱意と努力によって設立。一九四二年に国民学校（現在の小学校）として認められたのです。この学校の子供たちは、体が不自由であることから軽んじられたり、いじめられたり、教育を受けさせてもらえなかつたり、学童疎開の対象にすらもらえなかつたのです。

この時、松本保平校長は、子供たちの命を守るために疎開を実現させ、戦後も学校の再建、全国に肢体不自由学校を設置するための活動に取り組みました。病に倒れる直前まで一人ひとりの尊厳と価値、そして可能性を訴え続けて国会へと足を運びました。一九七〇年代に、某県で羊水検査の費用を負担すると宣言しま

した。その理由は、障がい者は一銭も生み出さず生産的価値がなく社会や家族に負担をかける というものでした。しかし、強い抗議を受けこの制度は即座に廃止になりました。

『生まれてくる権利と生む権利』あるいは、『生まれてくる不幸と育てる不幸』という相反する価値の間に起きた事件でした。

第二次大戦中ナチスドイツの障害者虐殺に抵抗し数千人の障がい者の生命を護りきつた人たちがいました。障がいのある人と共に暮らすベテルの町の人々です。誰一人として「生きるに値しない生命はない」と体を張ってナチスの言いなりならなかったのです。一人ひとりに尊厳と価値。そして可能性があるかと主張しました。ドイツの良心と言われています。

私たちは常に「生きるに値しない生命はない」と自らに問い続けなければなりません。

昨年のお詫びを繰り返してはなりません。「反省だけなら猿でも出来る」これはコマーシャルの言葉です。しかし人間は反省すると同時に、痛みを共感する社会を創造することが出来る存在です。痛みをもつその人の痛みを分かち合うこそが日々の暮らしと社会を豊かにすることに繋がるのです。一瞬一瞬を生きる生命の大切さに関わっていく重みを喜びをもって受け止めます。皆が力を合わせ、全ての生命が豊かに活かされる社会を創造するために力を尽くす一年を歩んでまいります。それは平和な社会を創造することにも繋がると確信しています。この年も今まで以上に皆様からの励ましとお支えをいただけますようお願いいたします。

改善の取り組みから

学んでいること

銀山学園 施設長 渡辺周吾

平成二十五年度の虐待問題を受けて、障害者の権利擁護構築に向けた、改善の取り組み三年目。

改善の最中、昨年五月下旬、再び問題発生、改善の取り組みを改めて検証する機会を得ました。問われた事は、如何に『権利擁護の姿勢』を組織の末端まで浸透させていくのか、という事でした。ここでは、改善初年度から今日まで、学んできたことは何かを検証したいと考えます。

日中活動の意義を学ぶ

施設の暮らし、ユニット単位の生活から、日中活動を横断的に展開し、安心して通える日中活動の場をつくろうと、活動の場を分散化、個別化させて、支援の個別化に取り組み、これまで一定の成果を上げているものと思っています。この活動のチーム会議の検証会議では、個別課題に一生懸命取り組むようになった、不適応行動が少なくなった、意欲も向上しているとの評価。活動のための職員配置には日々苦慮しているものの、活動の意義を実感できる取り組みとして今後も継続できればと考えます。

これからのテーマは、施設（集団）の暮らしの中でも、如何に個別化を図っているか、ではないでしょうか。

支援に科学的な視点を

障害者虐待の問題を抱えながら、一方で、自閉症や行動障害に関する勉強会を継続、私たちにとって支援困難なケースに寄り添う、科学的な根拠を見出し始めて、個別事例ごとに一定の手ごたえを感じながら支援できていることは、大きな成果だと実感しています。今後、後志圏域でのサポートステーション機能として、展開できればと考えています。

るところです。これは、支援スタッフの問題意識と探究心、挑戦する意欲に支えられていることと存じており、改めて敬意を表したいと思うところです。そうした意欲的な支援環境があつて、法に触れる障害者問題に着手できています。矯正施設に入院中から関係づくりをすすめる、地域生活定着支援センターや計画相談『にき』との連携のもと、平成二十七年八月から受入れ開始。問題を抱えた個別事例に、支援のネットワークを繋いで、独り立ちできる環境にできればと考えているところです。

地域に支えられて暮す

法人創設以来、お世話になつていらっしゃる地域の皆様のご支援を改めて実感しています。

法人職員だけでは個別の事例、一人ひとりの暮らしは支えきれないものと思つています。様々な生き方、人生があつて、支えていける支援環境が創つていけるものと思つています。

地元女性の会や老人クラブの皆様との交流等で「料理教室」の開催や、「スコップ三味線」「ふまねつ」との取り組みなど、相互に支えあう関係の中で交流ができていますと実感しております。こうした地域の皆様やボランティアの皆様、最近では身寄りのない方を支援していく後見人の制度活用で、「市民後見人」の方も面会に来園されるなど、施設の暮らしの中に第三者的な視点が入つてきています。こうした機会を通じて、組織の風土を更に風通しの良いものにしていければと考えているところです。

求められる社会貢献

少子高齢化の流れは止められないとしても、一人ひとりの人生にしっかりと寄り添つていける支援環境を創つていきたいと考えています。

銀山学園は、昭和四十五年開設以来、あと五年で創立五十年を迎えます。当法人の取り組みの歴史は、一人の人間のライフステージに添つて展開さ

れてきました。そこから学んできたことを受け継ぎ、次に繋ぐ時代と考えます。

次代にやつて来るであろう、福祉問題にしっかりと対応できる、法人（施設）機能にしていける為にも、今後、皆様のご指導、ご支援をお願いするものになります。

コタンの実践報告

支援科長 高橋 賢太郎

コタンが開設されて、二年目になりました。今年度に入り、新たな利用者さんが一名増え、二十二年体制で運営をしています。自閉症の方の専門的な支援を目指すことを目的に、創設され今年はいく個人の一日のスケジュールを作成していくことを目指しスタートしました。スケジュールを作成すると簡単に言いますが、簡単にはいかず、個人の障がいの特長や個人の理解力を分析し、個人が理解できるスケジュールを目指して支援をしています。まだまだ、一日のスケジュールをきちんと作成するに至らず、今後も継続して支援をしていきますが、ご本人にとって見通しのある一日を過ごすことが安心して繋がることになることを信じて続けていきたいと思つています。

利用者さんのハッピーな人生を目指して今後も邁進し続けたいと思つています。

交換研修

福原 綾

九月から十一月までの三ヶ月間法人内研修として、和光学園で研修をしてきました。銀山学園の利用者さんに負けないくらい元気で、まだまだ若い方が多く銀山学園での経験のみならず、とても刺激を受けました。いろんな個性や特性がありその中での難しさや、困難な事を利用者さんのために向きあつて、楽しく生活を送ることができるよう

取り組んでおりました。

今回の研修がきっかけとして、普段、他の施設を見る機会がないためどのような支援をしているのか勉強したいということ、銀山学園で支援員をし四年目となり初心に戻って、視野を広げもつと向上していけたらと思いい研修に参加させていただきました。新人に戻った気持ちで、たくさんの職員の方に教えていただき、不慣れではありましたがとても感謝しています。なかなか同じ法人内でも関わる事が少ないため、知らないことがたくさんあったことや、情報共有ができた事もあり、研修に参加して良かったと思えました。利用者さんとの関わりの中で、みなさんとても心優しい方ばかりで、利用者さん同士で助け合ったりする場面をみたり、名前を呼んで挨拶をしていたり、だいてとても嬉しく思ったりと、あつという間の三ヶ月間でした。

交換研修で経験したことを活かしてこれからの支援に繋がれたらと思います

山菜採り

今田 大輔



平成二十七年より新たな企画として野外ライブ(カラオケ)を企画しました。山菜取りに参加されたい利用者さんへの雪融けの春先、新鮮な空気を吸って頂きたくまた、山菜取りに行かれた利用者さん・保護者さんにも春先の山菜を美味しく召し上がっていただきたく思い、皆さんが楽しく参加できるように企画しました。

終始、野外カラオケを楽しみ新鮮な一日を過ごされたかと思えます。

来年度も利用者さん一人一人が楽しめるような企画を考えて行きたいと思えます。

夏のレクリエーション

米山 和男



二〇一五、夏のレクリエーション大会が昨年に続き、今年も晴天の中、開催されました。今年は、代表戦の空き缶ゲームで、ちよつと地味なゲームとなりましたが、参加された皆さんは、空き缶が崩れないように真剣になってゲームに取り組んでいたのが印象的でした。また、例年と同じく銀山地域のウォーキングも行われ、怪我なく無事に皆さん完走する事が出来ました。そして毎年恒例の新人職員紹介・新人職員による出し物では、今年マジックショーが行なわれ、会場の皆さんを楽しませてくれました。他には今年も銀山音頭を会場の皆さんと楽しんで踊りました。利用者の皆さんによるカラオケ大会は皆さんそれぞれ自慢の歌を披露してくれました。

また、来年度も利用者の皆さんが楽しんでいただけるような出し物を考えていきたいと思えます。ありがとうございます。



ふれあい祭り

斉藤 大生

まず始めに、昨年度は、大雨。そして今年度は、大雨・風・雹で今年の流行語大賞の一つの「トリプル

スリー」を不本意な形で達成となり、とても展開の早いお祭りだった事をお詫び申し上げます。



今年度は、第四十五回の節目のお祭りにふさわしい、満開のひまわりで皆様をお迎え出来、最高のかたちでスタートをきりました。

途中アクシデントもありましたが、ご準備・運営等、皆様のご協力を頂き最後の実行委員長を無事終える事が出来安堵しております。

来年度については、新実行委員長で皆様をお迎え致しますので、ご協力をして、沢山のご参加をお待ちしております。

食の祭典

今田 大輔



平成二十七年十一月七日を迎え食の祭典も四回目となりました。利用者さん・支援員・保護者さんの皆さんで秋にふさわしい料理を考え、食を楽しむ・また保護者さん、利用者さんのふれあいも通して楽しいひと時を過ごし無事に終えることが出来ました。握りずしを始め、石狩鍋・鮭ザンギといった秋ならではの食材、その他十品以上の食事が食堂を埋め尽くし、個々に食をするといふ楽しさを実感できたのではないのでしょうか。

来年度も皆さんが笑顔で食をすすめる楽しさを提供していきたいと思えます。



クリスマス会

福原 綾



十二月八日(火)に皆さんが毎年楽しみにしているクリスマス会を行いました。各ユニットから歌やダンスをみなさん楽しそうに披露し会場もノリノリでした。今年も職員からの出し物はユニークで、利用者さんも踊りに行ったりと笑顔があふれておりました。来年度もまた、みなさんに楽しんでいただけるよう企画していきたいと思えます。



唐橋 弘光



節分お楽しみ会は、午前には玉入れ、ものあてゲームのレクリエーションを行い、午後には職員が鬼になり、各ユニットを訪問し利用者さんに豆のかわりにチョコレート等のおやつを投げ、節分を行っております。



ボランティア委員

浅野 要

今年度も銀山地域の女性の会、夏レク、ふれあい祭りのボランティア(学生を含める)、アンサンブル、クリスマスコンサートを初め沢山の人の来ていただき心から感謝しております。銀山地域の



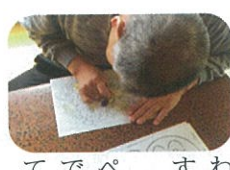
女性の会ではミシンで雑巾やその他にも沢山の物を縫っていただき銀山学園or利用者さんの為に役立っております。夏レク、ふれあい祭でもボランティアアで来てくれた方々のおかげもあり無事に終えることができました。また、クリスマスコンサートでも利用者さんの多くの笑顔を見ることができました。皆さん一人一人が利用者さんの為に力を貸して下さい本当にありがとうございます。



アップルホーム1 日中活動

アップルホーム1

アップルホーム1ではウォーキングや体操等の軽運動やそれぞれの得意な作業を組み合わせて行っています。少し学園から離れて一人一人のペースを作ることと落ち着いて集中でき、利用者さんも楽しく過ごされている様です。



アップルホーム チーフ 関井

さくらんぼ

日中活動さくらんぼは男性九名で活動を行っております。参加されている方が、高齢、介護が必要な方が多い為、身体機能の低下を軽減させる為のリハビリ体操、軽いウォーキング等を行って



おります。今後、利用者の方々が、より長く健康で過ごせるよう、活動してゆきたいと思えます。

いちご

今年度より利用者さんのレベルに合わせた日中活動を行っております。いちごの日中活動では、体操・園内ウォーキング・制作活動・カラオケなど色々な事に取り組んでいます。特に体力づくりには力を入れています。利用者が楽しんで行っています！利用者さんが楽しく、日中活動が出来るよう日々支援員側も模索しながら取り組んでいます！



いちごチーフ 東藤

ログハウス

ログハウスは現在十八名(通所一名含む)で日中活動を行なっています。小グループでの活動(ウォーキング、室内ボウリング、ボールの色分けエクササイズ)と個別に提供している自立課題を中心に活動をしています。小グループでの活動は天候や職員体制を考慮し、状況に応じたプログラムの提供を行ない、また今年から新たにボールの色分けエクササイズを実施し、活動内容の充実を図っています。自立課題は、各利用者が集中して取り組めるよう『構造化(一人一人に合った環境の提供)』の手法を用いて環境を整備し、自立課題を行なっています。



課題終了後は、ホールのテレビにてDVD鑑賞をする利用者さんや、個人の机でパズルや、塗り絵をする利用者さんなど過ごし方はさまざまです。今後も、利用者さんが活動しやすい環境作り、個別に特化した支援を目標に、日々の支援を行なっていく予定です。 ログハウス チーフ 成田

日中活動棟

日中活動棟では天気の良い日は外でウォーキングを実施し、天候の悪い日は室内で製作をしていました。また、歩く事が好きな方や製作が好きな方が混在している為、グループを二班に分かれて実施しています。最近では個別製作の時間は塗り絵・貼り絵・折り紙・絵画・トランプ・パズル、季節によって編み物を各自進めています。ウォーキングもたくさん実施し、体力維持に努めています。室内で活動する時も園内ウォーキングを欠かさず実施し、身体を動かしています。夏は暑い中、元気にウォーキングし、冬は雪が積もっている中、ウォーキング時にはソリに乗りながら楽しく活動しています。



今後も集中力が身に着く様に製作を行ったり、体力維持の為に積極的にウォーキングを行いました。と思います。

日中活動棟 武田

多目的ホール

多目的ホールではラジオ体操やストレッチで体を動かし、天候によっては、外や園内でのウォーキングを行っています。

室内では、ボーリングやアーチェリー、輪投げ、

的当て、ボール投げなど、体を使ったミニゲームを行ったり個別プログラムとして、塗り絵や絵画、習字、折り紙、積み木、ボール入れ、ビーズつまみ、折り紙など、それぞれの好きなものを行っています。それぞれのペースに合わせて活動しており、ウォーキングを行うグループや室内での活動を行うグループに分かれ、楽しく活動しております。ミニゲーム以外にも、音楽療法や、皆さんの好きなカラオケを行い、とても盛り上がり 있었습니다。ウォーキングは、歩くペースや体力面が異なるため、園周を歩くグループと園内を歩くグループに分かれ、ゆっくり歩いております。ボールなどを使ったミニゲームを取り入れて体を動かすことで、楽しみながらも身体機能の維持を図れるよう取り組んでいます。今後も、皆さんが楽しみながら活動できるよう努めていきたいと思っています。



交流センターでは、女性十三名、男性五名でウォーキングや個別課題を中心に行っています。個別課題では利用者さんが集中して取り組むことができる様、個別のペースにわかれ、一人ひとりに合わせた課題を行っています。課題後はDVD鑑賞や音楽鑑賞を行い、リラクセスした時間を過ごしています。

多目的ホール 佐竹

交流センター

交流センターでは、女性十三名、男性五名でウォーキングや個別課題を中心に行っています。個別課題では利用者さんが集中して取り組むことができる様、個別のペースにわかれ、一人ひとりに合わせた課題を行っています。課題後はDVD鑑賞や音楽鑑賞を行い、リラクセスした時間を過ごしています。支援員が思っている以上に細かい作業ができた、課題に取り組むことで落ち着いた時間が過



はDVD鑑賞や音楽鑑賞を行い、リラクセスした時間を過ごしています。

農園

せたりと、普段の生活にも活かせる発見がたくさんあり、支援員も楽しみながらいきいきと活動しています!! 交流センター 大崎



農園班は全員で十八名で行っております。夏は皆さんが汗水を流しながら活動を行いブルーベリーの収穫、草取り(草刈り)、様々な農作物を作っています。冬は作業棟内で紙ビーズを作成や除雪作業があります。特に夏は暑い中での作業をなりますので利用者さん一人一人の体調管理に気を配りながら作業に取り組んでいます。皆さん暑さにも負けず一生懸命作業に取り組んでいます。

また、苦勞しながらも農作物をつくりあげ、さらに畑の環境を整備するために草取りや草刈りは欠かせることが出来ません。収穫して皆さんに食べてもらおう時に一番うれしい言葉が「おいしいね」という言葉です。また、来年度も頑張っていきたいと思っております。 農園 浅野



陶芸館

陶芸活動では大江の陶芸館にて作品作りをしています。みなさん自ら作りたい物を考え制作しています。現在十五名程の利用者さんが参加してくれていますが、来年度はもっと多くの利用者さんに陶芸の楽しさを知ってもらえればと思っています。



陶芸活動 小林

第十五回全国障害者スポーツ大会

『二〇一五 紀の国 わかやま大会』に参加して

ボウリングクラブ 山崎 由美子

すいかユニットの佐藤友紀さんが、去年の十月二十四日〜二十六日に和歌山県で行われた全国障害者スポーツ大会のボウリング競技に出場しました。ちなみに友紀さんは、六年前の新潟大会にも出場しています。



大会期間中、北海道では雪が降ったにもかかわらず、和歌山は気温が二十度を超える日が続いても暑かったです。また、朝六時過ぎに宿舎を出発し戻るのは二十時過ぎになる日もあり、とてもハードな毎日でしたが、体調を崩すことなく元気に過ごすことができました。友紀さんのボウリングの成績ですが、女性でも一ゲーム二四〇を超えるスコアの方もおりとてもハイレベルだったので、残念ながら入賞することはできませんでした。しかし、同じレインの方たちでストライク・スベアなどといった時にはハイタッチし合うなど、和気あいあいと他県の方と交流していました。

大会最終日に半日ほど空き時間があり和歌山観光もしてきました。和歌山市にある『黒潮市場』というところに行き、マグロの解体ショーを見ました。写真はその時の記念にマグロのパネルで撮ったものです。道内や他県の方々とのスポーツ交流・和歌山観光と友紀さんにとってとても貴重な経験が出来たと思います。



お料理倶楽部

東藤 亜実



お料理クラブ発足から二年がたち徐々にクラブ支援員も慣れてきて、二ヶ月に一回程度開催しています。今年度も旅行へ行ったりと楽しく活動出来ました。

これからも、徐々にではありますが開催頻度を多くしていきたいと思えます!!



いきもの倶楽部

関井 大



いきもの倶楽部ではいきもの好きな方と一緒に動物園や水族館を訪れ色々な動物たちとふれあい楽しい時間を過ごしていただく事を目指して活動しています。

二年目となった今年はメンバーも増え二十名ほどの方が参加され、円山動物園や小樽水族館などに出かけて楽しい思い出が出来たようです。



パークゴルフクラブ

小林 加奈



二十七年度のパークゴルフクラブでは八月二十七日に倶知安で行われた後志大会に参加しました。

残暑厳しい中四名で力を合わせ戦いました。

結果は：惜しくも入賞とはなりませんでした。交流もあり皆さん終始楽しんでた様子でした。来年度は目指せ入賞です!!



生涯スポーツクラブ

米山 和男



生涯スポーツクラブでは、毎年三月頃大江地区にて、行なわれています。仁木町ゆつくり歩こうスキー大会に参加しています。昨年度は、三月一日に二名の方が参加し、軽快にスキーを滑らせ、大自然を楽しみました。参加後の豚汁も楽しみの一つで美味しく頂きました。

今年度も参加する予定です。



フライングディスククラブ

後藤 さおり

活動内容と結果発表を致します。北海道障害者フライングディスク大会は今年で二十一回目を向かえました。

高齢化と共に参加人数も少なくなる中、銀山学園では計十七名の利用者さんが参加されました。今年度は五名の新たな参加者も増え、とてもにぎわいました。

今回は一時間遅い開会式となった為、夕食も皆



今年度も利用者さんが毎月楽しみにしているダンスクラブでは、地域のダンス愛好会の方と一緒にふれあい祭りやダンスパーティーなど参加し楽しく踊っています。ダンス愛好会の方と利用者さん同士交流できる場でもあり笑顔があふれています。職員もダンスを楽しく行っており、皆さんの笑顔とともに今後も歴史の深いダンス倶楽部を続けていければいいと思います。



浅野 要

ダンスクラブ

ていきます。



え、今年も楽しく活動して



ボウリングクラブ



去年のボウリングクラブの活動は、全国障がい者スポーツ大会に一名出場と後志大会でチーム二位の成績を修めました。新入部員一名を迎え、今年も楽しく活動して

山崎 由美子

今年度で赤ちようちん倶楽部も四年目を迎えました。活動内容としては、皆さんもうご存じかと思います。利用者の皆さんの大好きな『お酒』をメインに美味しい食べ物を食べ、楽しい時間を一緒に過ごすといた内容です。会員の利用者さんは大体同じ顔ぶれではありますが、毎回、美味しいそうにお酒を飲んでいる姿を見ると、こちらまで楽しくなっています。今後も利用者さんに美味しいお酒の会を楽しんでもらえる様頑張ります。



今年度で赤ちようちん倶楽部も四年目を迎えました。活動内容としては、皆さんもうご存じかと思います。利用者の皆さんの大好きな『お酒』をメインに美味しい食べ物を食べ、楽しい時間を一緒に過ごすといた内容です。会員の利用者さんは大体同じ顔ぶれではありますが、毎回、美味しいそうにお酒を飲んでいる姿を見ると、こちらまで楽しくなっています。今後も利用者さんに美味しいお酒の会を楽しんでもらえる様頑張ります。



今 和之

赤ちようちん倶楽部

も増え現在は三十六名の会員の方がいます。毎月一回、余市のカラオケボックスやスナックなど行き点数を競いながら自満の歌声を披露しております。三月には、歌い納め会を水明閣で予定しており、皆さん自分の得意な曲を熱唱し合うことを楽しみにしています。また今年も、カラオケクラブの会員の方が有意義に過ごせるように心掛けていきます。



今年度は、会員の方から函館に行きたいと言う希望が多い為、道南地方の旅行を予定しております。年々、人数も増え現在は三十六名の会員の方がいます。毎月一回、余市のカラオケボックスやスナックなど行き点数を競いながら自満の歌声を披露しております。三月には、歌い納め会を水明閣で予定しており、皆さん自分の得意な曲を熱唱し合うことを楽しみにしています。また今年も、カラオケクラブの会員の方が有意義に過ごせるように心掛けていきます。

今年度は、会員の方から函館に行きたいと言う希望が多い為、道南地方の旅行を予定しております。年々、人数も増え現在は三十六名の会員の方がいます。毎月一回、余市のカラオケボックスやスナックなど行き点数を競いながら自満の歌声を披露しております。三月には、歌い納め会を水明閣で予定しており、皆さん自分の得意な曲を熱唱し合うことを楽しみにしています。また今年も、カラオケクラブの会員の方が有意義に過ごせるように心掛けていきます。

阿部 利幸

カラオケクラブ

新人紹介



すいかユニット
加藤 瑞季



すいかユニット
上川原 亜美



いちごユニット
渡 陽子



いちごユニット
畑中 真央



医務室
堀内 康代



さくらんぼユニット
松島 至



さくらんぼユニット
工藤 寿祐



りんごユニット
相神 慎之介



りんごユニット
脇田 雅博

心温まるお志ありがとうございます。ご芳名（順不同）

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 札幌山自動
札幌こども
札幌自動車
札幌専修学
札幌校 | 銀山自動車
銀山整備工
銀山場 | 吉野幸博
吉野博宮
吉野子 | 栗野幸博
栗野博宮
栗野子 | 関木町母
関木町母
関木町母 | 仁木町母
仁木町母
仁木町母 | 山本美智
山本美智
山本美智 | 宮本美智
宮本美智
宮本美智 | 高橋貞智
高橋貞智
高橋貞智 | 余市養護学
余市養護学
余市養護学 | 千歳市社会
千歳市社会
千歳市社会 | 山下久美
山下久美
山下久美 | 石川重幸
石川重幸
石川重幸 | 富田俊夫
富田俊夫
富田俊夫 | 古江俊夫
古江俊夫
古江俊夫 | 木村商
木村商
木村商 | 井上和
井上和
井上和 | 宮川和
宮川和
宮川和 | 辻木和
辻木和
辻木和 | 高坂誠
高坂誠
高坂誠 | 後志浄化槽
後志浄化槽
後志浄化槽 | 札幌大谷大
札幌大谷大
札幌大谷大 | 森内科胃腸
森内科胃腸
森内科胃腸 | 札幌大谷大
札幌大谷大
札幌大谷大 | しろいし看
しろいし看
しろいし看 | 管野ソノ
管野ソノ
管野ソノ | ラ・プ
ラ・プ
ラ・プ | 大正堂
大正堂
大正堂 | 奥田春保
奥田春保
奥田春保 | 北海道補償
北海道補償
北海道補償 | 北道中和
北道中和
北道中和 | 田中秀嗣
田中秀嗣
田中秀嗣 | 今中秀嗣
今中秀嗣
今中秀嗣 | 富士産業
富士産業
富士産業 | 濱田忠行
濱田忠行
濱田忠行 | 平林メンタ
平林メンタ
平林メンタ |
| 西原久美
西原久美
西原久美 | 木村北化学
木村北化学
木村北化学 | 有限会社
有限会社
有限会社 | 津浦希望
津浦希望
津浦希望 | NPO法人
NPO法人
NPO法人 | 藤澤孝一
藤澤孝一
藤澤孝一 | 銀山郵便
銀山郵便
銀山郵便 | なら理容
なら理容
なら理容 | 木田忠
木田忠
木田忠 | 金山井澤
金山井澤
金山井澤 | 銀山駐在所
銀山駐在所
銀山駐在所 | 中野福生
中野福生
中野福生 | 一般社法人
一般社法人
一般社法人 | 大江石
大江石
大江石 | セブインレ
セブインレ
セブインレ | イナホ観光
イナホ観光
イナホ観光 | 山中牧場
山中牧場
山中牧場 | ビクトリー
ビクトリー
ビクトリー | 美容室ミヤ
美容室ミヤ
美容室ミヤ | 美余市葬祭
美余市葬祭
美余市葬祭 | 稲垣中道
稲垣中道
稲垣中道 | 北海信用金
北海信用金
北海信用金 | 池田弘
池田弘
池田弘 | 新おたる農
新おたる農
新おたる農 | 大市江防備
大市江防備
大市江防備 | 余市防備
余市防備
余市防備 | 浦市防備
浦市防備
浦市防備 | 清水庭政
清水庭政
清水庭政 | 大庭政
大庭政
大庭政 | 佐藤悦子
佐藤悦子
佐藤悦子 | 北海道コカ
北海道コカ
北海道コカ | 鷹野正義
鷹野正義
鷹野正義 | 長尾章郎
長尾章郎
長尾章郎 | 第一会館
第一会館
第一会館 | スコットラ
スコットラ
スコットラ | |
| 五小齋
五小齋
五小齋 | 小樽市師
小樽市師
小樽市師 | 銀山地区
銀山地区
銀山地区 | 八巻美恵
八巻美恵
八巻美恵 | 銀山女性
銀山女性
銀山女性 | 吉川乃輝
吉川乃輝
吉川乃輝 | すし乃輝
すし乃輝
すし乃輝 | 藤十嵐
藤十嵐
藤十嵐 | 五十嵐
五十嵐
五十嵐 | 久母由喜
久母由喜
久母由喜 | 山母由喜
山母由喜
山母由喜 | 加藤政行
加藤政行
加藤政行 | 仁木政行
仁木政行
仁木政行 | 仁木政行
仁木政行
仁木政行 | 仁木政行
仁木政行
仁木政行 | 河内義
河内義
河内義 | 船内義
船内義
船内義 | 伊藤義
伊藤義
伊藤義 | 深沢並
深沢並
深沢並 | 西松建設
西松建設
西松建設 | 荒谷静
荒谷静
荒谷静 | 瀬野勝
瀬野勝
瀬野勝 | 藤山勝
藤山勝
藤山勝 | 三上勝
三上勝
三上勝 | よ上勝
よ上勝
よ上勝 | 社会福祉
社会福祉
社会福祉 | 木村雄
木村雄
木村雄 | 那須雄
那須雄
那須雄 | 社会福祉
社会福祉
社会福祉 | さ須雄
さ須雄
さ須雄 | ダニス愛
ダニス愛
ダニス愛 | 北海道建
北海道建
北海道建 | | | | |

平成二十七年十二月まで

編 集 後 記

例年より雪が少ないと安心していた矢先インフルエンザが流行し、皆で頑張り何とか乗り切りました。後は暖かな日が続き、一日も早く春が来るのを待つのみです。皆様の元に、この学園だよりが届く頃には待ち焦がれた春がすぐそこまで来ている事を願っています。

学園だより委員会 浜田